



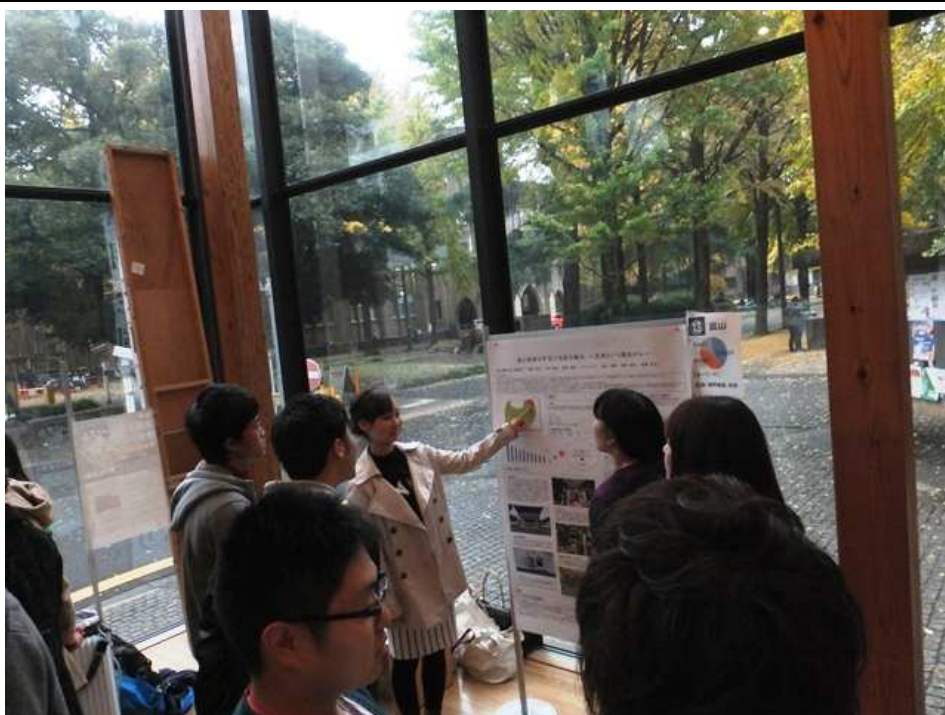
【編集】
富山国際大学
現代社会学部

富山国際大学

東黒牧ニュース

Toyama University of International Studies

東大で行われた学生シンポジウムでの研究報告



平成 26 年 11 月 29 日に、齋藤ゼミではゼミ活動の一環として、「第 6 回全国エコツーリズム学生シンポジウム」に参加しました。東京大学弥生キャンパスで行われ、全国から多くの大学生が集まり開催されました。私達は交流という視点から観光について考え、活性化に取り組んでいる地域の例として富山県朝日町笹川地区を取り上げ、「交流という視点から見た 富山県

笹川地区の観光」という発表をポスターセッションにて行いました。

2015 年 3 月には北陸新幹線が開通します。それにより、富山県を訪れる観光客も増加すると思われます。観光需要についてのニーズが現在変化しつつあるため、地域が観光の重要な要素となり、地域の情報や住民との交流が今まで以上に求められるようになってきました。私達は現地に赴き、観光ルートを通りながら、地域の住民の方々に観光地を案内していただき、観光マップの作成のお手伝いをしました。ポスターセッションでは来場者から質問を受け、これをもとに議論を交わしました。

その後、学生による研究発表、ワークショップに参加しました。この交流ではエコツーリズムについて様々な視点から自分の意見との相違点を発見し、参考にできる点がたくさんありました。また、他学生の積極性および疑問に感じたことはすぐに行動に移す力など刺激を受けることがたくさんあり、自分たちを見直す良い機会となりました。就職活動ももう少しで本格的に始まるので、シンポジウムで得た経験を生かしていきたいと思えます。



(文：現代社会学部 3 年 柳田麻衣、写真：齋藤敏子)